

隣接する赤十字奉仕団が相互応援協定を締結

大野市と勝山市の両赤十字奉仕団は2月7日、相互の連携を強化し、災害時における協力支援を円滑に行うための「赤十字奉仕団相互応援協定」を締結しました。

大野市の「結とぴあ」で開かれた協定締結調印式では、赤十字奉仕団員ら約30名が見守る中、両地区長が協定書に署名しました。

この取り組みは全国でも先進的な事例として、本社の青少年・ボランティア課長も応援に駆けつけてくださいました。

協定には、奉仕団が行う平時・災害時を含めた様々な活動が盛り込まれており、今後、相互の連絡体制が強化され、災害等が発生した場合における奉仕団の機動力発揮が期待されます。

また、平時の活動としては、両市赤十字奉仕団が共同で行う研修や訓練などを通して防災の知識や技術を共有し、交流を図ることで顔の見える関係を構築していきます。



協定書を交わす水上実喜夫勝山市地区長（左）と石山志保大野市地区長（右）



（前左から）高部雄一 本社青少年・ボランティア課長、竹内富美子 勝山市奉仕団委員長、水上勝山市地区長、石山大野市地区長、前田廣子 大野市奉仕団委員長、坪川利隆 福井県支部事務局長